

事業 優先順位		4 細事業：骨粗しょう症検診事業				整理 番号		09				
目 的		早期の骨量減少者を発見し、栄養・運動面等の保健指導により改善を図り、骨粗しょう症予防を図る。										
目 標		問診・手、腕等の骨のX線撮影を行う。 壮年期からの健康についての認識と自覚の高揚を図る。										
事業 実施主体		委託	事業開始 年 度	平成14年度	根拠 法令	康増進法						
事業費・財源				平成24年度	比 較				平成24年度	比 較		
	事業費（決算額）（千円）			6,601			総コスト（千円）		9,775			
	財 源 内 訳	一般財源			3,126			内 訳	事業費		6,601	
		国府支出金			3,475				人件費		3,174	
		地方債			0				公債費		0	
		その他特定財源			0				一人あたり（円）		87	
					0			世帯あたり（円）		207		
					0			参 考	職員数（人）		0.40	
					0				再任用職員数（人）		0.00	
	今後の方向性		今後も引き続き検診の必要性について啓発し、要指導者への指導を実施する。									
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	当該年度に満40・45・50・55・60・65・70歳の女性市民：約6,200人							
	A	A	B									

事業優先順位		2 細事業:肝炎検査事業				整理番号	10			
目的		肝臓がんの原因の90%が、肝炎ウイルスによるものであるため、肝炎ウイルスの感染者を早期に発見するため。								
目標		問診、血液検査を実施する。感染している可能性の高い受診者には、精密検査を受診するよう指導する。 肝炎ウイルス感染者の早期発見に努める。								
事業実施主体		委託	事業開始年	平成14年度	根拠法令	健康増進法				
事業費・財源	財源内訳			平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成24年度	比較
		事業費(決算額)(千円)		3,087			総コスト(千円)		5,468	
		一般財源		821			事業費		3,087	
		国府支出金		2,266			人件費		2,381	
		地方債		0			公債費		0	
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		48	
				0			世帯あたり(円)		116	
				0			職員数(人)		0.30	
				0			再任用職員数(人)		0.00	
		今後の方向性		肝臓がんでの死亡を減らすために、検査未実施者への受診勧奨を継続して行う。						
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	40歳以上の市民(平成14年以降未受診の者):約150人					
	A	A	B							

細事業：骨粗しょう症検診事業

1. 骨粗しょう症検診

骨粗しょう症は骨強度が低下し骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展によりその増加が予想されることから、早期に骨量減少者を発見し、骨粗しょう症を予防することを目的に、４０歳、４５歳、５０歳、５５歳、６０歳、６５歳及び７０歳の女性市民を対象に骨粗しょう症検診を実施した。

- (1)実施方法 市内の取り扱い医療機関において個別健診として実施
- (2)実施内容 問診、エックス線検査（DXA法※またはMD法※）
- (3)実施期間 平成２４年４月１日～平成２５年３月３１日
- (4)実 績

（単位：人）

項 目	受診者数	異常なし	要指導	要精検
骨粗しょう症検診	1, 4 7 1	9 0 4	3 6 7	2 0 0

※DXA法

…全身または腰椎などの重要な部位について、二種類のX線を当てて骨密度を測定する方法。

※MD法

…人差し指の根元の骨をX線写真撮影して、写真の陰影濃度を分析する事によって骨密度を測定する方法。

細事業：肝炎検査事業

1. B型C型肝炎ウイルス検査

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関で受診することにより、肝炎による健康障害を回避し症状を軽減し、進行を遅延させることを目的に実施した。当該年度内に満４０歳になる市民と、４０歳以上で平成１４年以降にB型C型肝炎ウイルス検査を未受診で受診を希望する市民を対象に実施した。

- (1)実施方法 市内の取り扱い医療機関において個別健診として実施。特定健康診査と同時実施を基本とするが、実施医療機関において特定健康診査を受診しない場合は、単独実施も可能とした。
- (2)実施内容 血液検査（B型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査）
- (3)実施期間 平成２４年４月１日～平成２５年３月３１日
- (4)実 績

（単位：人）

項 目	受診者数	結果内訳
B型肝炎ウイルス検査	8 0 5	陽性者 8
C型肝炎ウイルス検査	8 0 6	感染している可能性が極めて高い人 2

2. 肝炎対策強化推進事業

平成２３年度より肝炎対策強化推進事業として４０歳以降に一度も当該検査を受診していない市民（４０歳以上６０歳までの５歳刻みの年齢）を対象に個別勧奨を行った。（６，８６４人）